

第3回 地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議事録

開催日時;2023年10月12日(木)14時30分

場所 ;JCHO大阪病院 6階講堂2

出席者 ;【委員】

委員	JCHO 大阪病院	院長	西田 俊朗
委員長	JCHO 大阪病院	院長補佐	市川 肇
副委員長	JCHO 大阪病院	副院長	島田 幸造
委員	JCHO 大阪病院	副院長	金子 晃
委員	JCHO 大阪病院	事務部長	横山 富士男
委員	JCHO 大阪病院	看護部長	谷岡 美佐枝
委員	福島区医師会	会長	中島 滋郎
委員	福島区医師会	副会長	塚本 尚哉
委員	福島区医師会	理事	塚本 雅子
委員	大阪市保健所	西部保健医療監	半羽 宏之
委員	福島消防署	署長	松田 幸久
委員	(病院利用者)		西川 まさ子

【関係者】

大阪病院	救急部診療部長	小笠原 延行
大阪病院	副看護部長	岩田 富美
大阪病院	医療福祉相談室・地域連携室室長	三村 麻紀子
大阪病院	救急外来看護師長	松山 佳子
大阪病院	総務企画課長	小西 英康
大阪病院	医事課長	橋 弘城
大阪病院	地域連携室係長	小谷 直子

【議題】

1. 地域医療支援病院 指定要件に関する定期報告
 - 1) 救急医療の提供に関すること
 - 2) 紹介患者に対する医療提供に関すること
 - 3) 医療機器の共同利用
2. 入退院支援
3. 当院に対するご質問、ご要望等

1. 1) 救急医療の提供に関すること

先日、救急隊の方との面談のとき、症例によっては電話対応が遅くなったことの話があり、それを院内の救急委員会で検討し是正するようにした。

西田院長: 受け入れができるかどうかをできるだけ早く返答するようにしているが、受け入れをしても当院では対応が無理である可能性もゼロではなく、そのときは3次救急の方へ回していただくことになり、そのあたりのことはご了解いただきたい。

1. 2) 紹介患者に対する医療提供に関すること

① 紹介・逆紹介

2023年4月以降の3ヶ月平均の紹介率は77.4%、逆紹介率は115%で、平均以上という状況で推移していて基準を維持できている。

1. 2)② 診療予約・緊急受診等相談に関すること

診療申込件数は増加していてコロナ禍の前に近づいてきている。

緊急受診の相談について応需率は8割弱になっているが、診療所、施設からの相談に関しては9割以上対応している。

1. 3) 医療機器の共同利用

単純CTを含めて検査申込件数は増加傾向にある。

2. 入退院支援

退院調整に関しては従来と変わらず転院の割合が多くなっている。

介護支援等連携指導料算定件数については、コロナ禍の前は毎月30件~35件ぐらいあったので、現在ケアマネージャーとの連携に再び力を入れていて、もう少し密に連携できるよう取り組んでいるところである。

退院時共同指導実施件数は退院前の合同カンファレンスのことであり、これに関してはもうコロナ禍以前にもどっている。

塚本理事: 退院前カンファレンスについて、ケアマネージャーだけでなく私たち在宅医の方にも連絡していただき、いつもありがとうございます。

(オープンキャンパス)

10/7(土)福島区民まつりが再開され、当院もオープンキャンパスというかたちで、住民のみなさまに保健福祉活動の一環として何か啓蒙活動ができないかという

目的で開催した。

体操コーナー、相談コーナーなどを設け、講演会は全 11 講演を用意し、運動療法士の方に作っていただいた大阪病院のオリジナル体操を実施した。

また、子どものコーナーでは、助産師を中心に、写真をとったり足形をとったり沐浴指導なども行った。

さらに、がん健診の必要性を伝え、糖尿病の指導や心臓マッサージの練習も行った。

次年度も、また、新たな企画を考えようと思っているのでご参加よろしく申し上げます。

3. 当院に対するご質問、ご要望等

松田署長: 情報提供として、在宅医療の酸素を使用している方が、タバコを吸っていてそこから引火して、火災が起こりお亡くなりになったということが最近あった。こういう火災について、何かの機会に注意喚起していただければと思う。

塚本理事: 在宅酸素に関連して、災害でもし停電になって、自分で避難所まで行けない場合を想定して、福島区内の要支援者を把握したいと思っている。

また、災害支援、防災対策についてお話ができればと考えているのでよろしく申し上げます。

半羽西部保健医療監: 大阪市危機管理室というところで、安否確認のための要避難支援者というリストを作成している。

今後、協力医療機関としてご協力いただく場合に、そのリストが活用されることになると思う。

以上

